

【施設状況】

グループ名称	信州新町授産センター										
指定管理者名	特定非営利活動法人ワーカーズコープ					法人番号	6010705002441				
所管課	主	100600	福祉政策課	副							
構成施設	1369	信州新町授産センター									
施設分類	05	保健福祉・医療型			施設利用者圏域	01	地域施設	利用制適用区分	03	一部利用料金制	
施設概要	社会事業授産施設 【施設本体】鉄骨造平屋建 延床面積765.00㎡ 作業室、休憩室(食堂)、更衣室、事務室 【倉庫】木造平屋建 延床面積19.87㎡										
施設設置目的	身体上若しくは精神上の理由又は世帯の事情等により就業能力の限られている者に対して、就労又は技能の修得のため必要な機会及び便宜を与えて、その自立を助長することを目的とする。										
基本方針等	身体上若しくは精神上の理由又は世帯の事情等により就業能力の限られている者に、より良い就労環境と機会を与え、障害のあるなしに関わらず施設利用者の枠を超えて交流できる、地域に根ざした施設となることを目指す。										
主な実施事業	社会事業授産施設 民間企業から作業を受託し、その受託作業に係る収入を工賃として支払うことにより、通常の雇用契約による就業が困難な施設利用者の自立の助長を図る。										

【項目評価基準表】

評価	評価基準
5 (優れている)	・協定、事業計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上で、指定管理者のノウハウや努力等によるところが特に大きい
4 (良い)	・協定、事業計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上
3 (普通)	・協定、事業計画が予定どおり実施された
2 (劣る)	・協定、事業計画の一部が予定どおり実施されない ・管理運営の一部において、市の指導が必要
1 (悪い)	・協定、事業計画が全て実施されない ・管理運営の全てにおいて、市の指導が必要 ・市の指導を受けてもなお、全く改善が図られない

【評価項目】

1 指定管理者の健全性

指定管理者名	特定非営利活動法人ワーカーズコープ			当該指定管理者の 指定回数	3 回	
指定期間	令和3年4月1日	～	令和8年3月31日	5年	当該指定管理者の 管理運営開始日	平成23年4月1日
指定 管理 者の 健 全 性	施設の設置目的や市が示した基本方針、また、自ら提案した内容に沿った管理運営であったか。 また、団体の財務状況や組織体制は、管理運営実績のある他施設での管理運営状況も踏まえ、良好で、健全か。					評価
	特記事項 (問題等があった場合に、 その内容等を記入)					

2 施設の有効活用

		利用区分等	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	対前年比	評価
施設利用状況 (利用者数、件数、稼働率など)		授産施設(利用者月平均)	人	24	19	21	20	95%	3
								#DIV/0!	
								#DIV/0!	
								#DIV/0!	
								#DIV/0!	
								#DIV/0!	
<p>(特記事項)利用者定員30人。生活保護法の規定による要保護者、障害者等の技能修得・就労機会の提供を目的とする施設であり、定員に余裕があるときは、一般の利用者を受け入れるもの</p>									
事業実施内容	区分	協定内容・指定管理者提案			追加事業、未実施事業及び未実施の理由				
	市指定事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授産施設の事業実施に関する業務</li> <li>・授産施設の利用許可・条件付与・許可取消しに関する業務</li> <li>・授産施設の施設及び設備の維持管理に関する業務</li> <li>・授産施設の利用料金の收受、割引等に関する業務</li> <li>・授産施設の効用を増加させる自主事業に関する業務</li> </ul>							
	自主事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>①耕作放棄地の再生を兼ねての農業</li> <li>②革鞣し事業者との連携による鹿革の販売と加工品の開発・制作</li> <li>③信級地域の里山整備</li> </ul>			<p>&lt;未実施&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 農業自体を実施し、野菜を収穫したが、新型コロナウイルス感染症の影響にて集会やイベント等で販売する機会がなかった。(野菜は利用者に対して現物還元した。)</li> <li>②、③については、革鞣し事業者や信級地域との連携を模索したが具体的にならず、未実施となった。</li> </ul>				
サービス維持・向上の取組み (広報等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行政機関、地域住民、民生委員等との連携を通じて施設の周知・利用案内を行い、要保護者の増加につながった。</li> <li>・利用者の生活上のサポートを行う等、授産施設が作業効率の増加のみならず、利用者にとっての居場所となるような環境設定を行った。</li> <li>・未実施の自主事業についてはコロナ禍の収束状況を踏まえて実施する予定。</li> </ul>								

3 利用者評価

		区分	内容	評価
利用者評価	利用者要望把握	(1) 利用者要望把握方法	聞き取り	4
		(2) 調査、会議等の内容 日々の作業において、常に作業指導員が施設利用者に作業方法の指導を実施しているほか、休憩の際には、施設長、作業指導員及び施設利用者が一つの休憩室に集まり親睦を深め、またマレットゴルフや季節の山菜取り・お花見の企画などで施設利用者とのコミュニケーションの維持向上に努めている。		
(3) 調査、会議等の結果 いくつかの具体的な評価、要望があがった。 ・今までのような作業ができなくなった→退所しなければならないと悩む施設利用者の把握(施設側の対応:施設の設置目的を踏まえ、施設利用者には丁寧に相談に乗り、継続利用に繋げる)				
利用者評価	利用者からの評価・苦情等	(1) 良好とする評価 ・授産施設が作業を行うこと以外にも、自分の居場所となっている。		
		(2) 苦情・改善等の要望事項 ①工賃収入がもっと欲しい。 ②今までできていた作業が年齢的に厳しくなった。 ③独居で高齢で体調面が心配。		
		<p>&lt;&lt;対応措置&gt;&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①利用者の能力、体調面を考慮しながら作業量を増やし、工賃収入を増加させた。</li> <li>②取引先との納品頻度を落とす等の調整を行い、作業内容や作業量を調整し、過度な負担がかからないようにした。</li> <li>③独居の利用者の体調不良時には安否確認に自宅訪問を行い、買い物、通院、銀行等への付き添いを行う等の生活上のサポートを行った。</li> </ul>		

事業収支 (単位:円)	指定管理者収支(令和3年度)				市の収支				評価		
	年度計画額		収支実績額		令和3年度決算		令和2年度決算(前年度)				
	項目	金額	項目	金額	項目	金額	項目	金額			
収入	利用料金	19,000	利用料金	22,760	歳入	使用料		使用料			
	指定管理料	25,104,000	指定管理料	25,104,000		雑(納付金)		雑(納付金)			
	委託料		委託料			行政財産目的外使用料		行政財産目的外使用料			
	販売収入等		販売収入等			貸付料		貸付料			
	その他収入	882,000	その他収入	880,034		その他		その他			
	作業収入	4,200,000		4,190,595		負担金保護施設事務費	15,814,620	負担金保護施設事務費	18,642,320		
	就労奨励費	151,000		141,170							
	計	30,356,000	計	30,338,559		計	15,814,620	計	18,642,320		
	支出	人件費	18,182,000	人件費		17,407,628	歳出	指定管理料	25,104,000	指定管理料	24,604,000
		設備管理費	294,000	設備管理費		311,605		委託料		委託料	
備品購入費		100,000	備品購入費	0	需用費			需用費			
修繕費		50,000	修繕費	189,040	役務費	12,903		役務費	13,103		
光熱水費		1,050,000	光熱水費	1,233,912	使用料・賃借料			使用料・賃借料			
事業費		1,722,000	事業費	1,680,855	修繕費	45,540		修繕費	130,000		
事務経費		815,000	事務経費	1,144,655	工事請負費	1,045,000		工事請負費			
本社経費		3,792,000	本社経費	3,792,000	備品購入費			備品購入費			
その他			その他		その他			その他			
支払工賃		4,200,000	支払工賃	4,190,595							
就労奨励費	151,000	就労奨励費	141,170								
計	30,356,000	計	30,091,460	計	26,207,443	計	24,747,103				
自主事業	収入		収入								
	支出		支出								
	自主事業損益	0	自主事業損益	0							
損益		0	247,099	差引	-10,392,823		-6,104,783				
人件費比率【人件費(賃金等)／令和3年度指定管理者事業支出】(支出に占める人件費の割合)								57.8%			
本社経費が、計画額と実績額で異なる理由											

5 管理運営全般 ※すべて  で、「3」、「4」、「5」とする場合は、評価理由欄に理由を記載してください。

区分	確認内容	チェック欄	評価
職員配置	1 施設管理運営に必要な人員が、適正で有効に配置されているか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	配置実績 (うち市内雇用職員数)		
	・常勤6人(4人) 【内訳】施設責任者1人(0人)、事務員1人(1人)、指導員4人(3人)		
	2 専門性を備えた職員、有資格者が必要に応じて配置されているか		
	3 労働関係法令を遵守し、職員の適正な労働条件を確保しているか		
	4 職員の資質・能力向上を図り、施設を適切に運営するための取組みや研修がなされたか		
平等利用	1 特定の団体や個人に偏らない、公平・公正な、透明性の高い運営がなされたか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	2 使用許可、減免等の事務手続きが適切に行われたか		
経理	1 施設の管理運営に係る収支の内容や、指定管理料、利用料金等の取扱いは適切に行われたか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	2 収支内容等を記載した帳簿を整備しているか		
施設・備品の維持管理	1 必要とされている保守、点検、清掃、保安、警備等、必要な維持管理業務が確実に行われたか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	2 備品はⅠ種、Ⅱ種を明確にし、それぞれ台帳、目録等を整備の上、管理が適正に行われたか		
セルフモニタリング等	1 日常的、定期的に業務の点検、監視が行われたか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	2 事業計画・報告書、予算書・決算書や、施設の利用状況などの定期報告、点検・検査結果報告などが遅滞なく提出されたか		

6 危機管理体制 ※すべてで、「3」。1カ所でも空欄の場合は「1」「4」「5」とする場合は、評価理由欄に理由を記載してください。

No. 9

区分	確認内容	チェック欄	評価
危機管理体制	安全対策	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	1 危機管理マニュアルなどが整備されているか		
	2 危機管理マニュアルなどの内容が職員に周知されているか		
	3 常に、日常の事故防止などに注意を払っているか		
	個人情報保護	<input checked="" type="checkbox"/>	
	1 施設の利用者の個人情報を保護するための対策が適切であったか		
防犯、防災対策	1 防犯、防火などの対策、体制が適切であったか	<input checked="" type="checkbox"/>	
	2 防災訓練など、必要な訓練が実施されたか		
緊急時対応、体制	1 事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか	<input checked="" type="checkbox"/>	
	2 必要な保険に加入するなど、利用者などからの損害賠償請求への対応措置が講じられているか		

7 地域連携

地域連携	協定内容・指定管理者提案	追加された内容、未実施の内容及びその理由	評価
	地域の声を聞く体制や、協働で地域貢献ができる運営であったか。市内雇用や市内事業者から物品を購入する等、地域を活用した管理運営であったか。障害者就労施設等からの物品及び役務の調達に努めたか。		3
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員の地元(地域住民及び市内居住者)雇用</li> <li>・物品購入や修繕・業務委託に関する地元事業者の積極的活用</li> <li>・近隣諸施設の施設状況を把握し、施設利用上の協力態勢に努める。</li> <li>・障害者の雇用改善という共通の目的に向かって、他施設と連携し、地域福祉推進の一翼を担っていきたいと考えている。</li> </ul>		

【総合評価】

評価項目	評価	得点	総合評価	
指定管理者の健全性	3	6	合計得点 <b>64</b>	
施設の有効活用	3	6		
利用者評価	4	16		
事業収支	3	6		
管理運営全般	3	12		
危機管理体制	3	12		
地域連携	3	6		

評価理由	利用者の要望を丁寧に聴き、対応した結果、作業のみならず利用者の生活面の指導・サポートに力を入れ、利用者の居場所づくりや社会的役割の創出を図ったことを踏まえ、「利用者評価」は「4」とした。
------	---

取組み・改善案等(施設所管課)	前年度からの課題	改善状況	改善案等(改善されていない場合)
	施設利用者の維持	死亡による退所者も発生したが新規利用者を4名獲得することができた。	

次年度の目標・取組み等(施設所管課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前年度比で施設利用者として作業収入の増加は達成できたが、未だ定員に空きはあるため、今後も施設を周知し利用者増を図る。</li> <li>・農業をはじめとする計画された自主事業が実施できていないため、可能な範囲で実施する。</li> <li>・施設が築20年以上経過し、施設・設備の老朽化が進んでいるため、日々の点検等を通じて修繕が必要な個所の早期発見に努め、協定に基づく責任分担の下、適切な修繕等の対応を行う。</li> </ul>
--------------------	--

指定管理者自己評価

(1) 今年度の取組みに対する評価

① サービス向上に向けての取組み

信州新町授産センターは中山間地特有の利用者の高齢化とそれに伴う退所等により利用者減少傾向にあります。現在センターを利用している方々は体力的も落ち体調を崩す事も増えています。そのような状況の中で利用者の通院、買い物、金融機関や支所への送迎、日常生活の相談支援等に力を入れています。

また働く場としては当然ながら、居場所性も重要視しており、利用者の相互の関係づくりにも力を入れています。重層的支援整備事業を視野にいれ、今後地域共生社会に向けて専門性を生かしながら仕事が終わった後の場づくりもより取り組んでいきたいと考えています。

菜園作りについては身体を動かすことだけでなく、高齢の利用者の知恵を借りながら野菜を育てる事ができ、体力の向上や、収穫できた野菜を分けるなど一定の成功を納めています。

また大麦のストロー作りのため、冬に大麦を捲いて収穫し、麦ストローを作成する仕事を生み出すなど、環境問題から派生した取り組みは信濃毎日新聞にも掲載されました。小さいながらも地域の必要に応えられることで利用者の社会貢献の気持ちの醸成にも資する取り組みになったと思います。

中山間地の特徴を生かしたサービス向上の策を今後より推進していきたいと考えます。

② 業務の効率化に対する取組み

これまで授産センターの作業は多くの部分を品質管理上指導員が行ってきました。その為、作業量が限られ利用者工賃にも影響していました。そこで過剰な品質管理を見直し、まずは職員の作業負担を軽減し、利用者の作業指導に力を入れ利用者の作業効率を少しでも上げる事により利用者工賃の底上げと利用者、指導員ともに作業の負担を少なくするよう努めています。

③ その他

(2) 指定管理者業務実施上の課題

- ・昨年同様、施設の利用枠に余裕があるので引き続き利用促進に努める
- ・工賃収入増に繋がる新規取引先の開拓
- ・工賃収入増に繋がる自主事業の充実

(3) 総合評価

評価基準

- 【A】計画や目標を大きく上回る 【B】計画や目標を上回る 【C】計画や目標どおり  
 【D】計画や目標を下回る 【E】計画や目標を大きく下回る

指定管理者  
自己総合評価

B

① 評価理由

- ・コロナ禍において利用者数も定員には及ばないものの回復傾向にあります。
- ・コロナ禍において工賃収入も前年以上を確保できた。
- ・新規獲得の事業(信州新町地域)が増加し営業の効果が出てきた。
- ・利用者に対していきがい感のある就労、居場所づくりに取り組むことができた。

② 次年度以降の取組み

- ・引き続き関係各所と連携をとりながら新規利用者の獲得をする。
- ・信州新町周辺の新規取引先獲得を更に進める。
- ・地域に繋がり貢献できるSDGsを基礎に据えた自主事業を進める。